

第 11 回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
教育活動・学校事務部会（会議録）

会議の名称 第 11 回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
教育活動・学校事務部会
開催日時 令和 7 年 3 月 24 日（月） 午後 7 時から
開催場所 串原コミュニティーセンター サンホール
議題 課題番号 16 教育課程、教育内容に関する事
課題番号 19 交流事業に関する事
公開非公開の別 公開
出席者 委員

平林 道博
大嶋 達也
近藤 晃幹
藤田 みのり
鈴木 真弓
小林 康予
片桐 宣伸
後藤 琢磨
深谷 友康
各務 美穂
加藤 淳
近松 彩子
松田 正
梶屋 明広
松井 克仁
小栗 史也
藤田 航平
榊本 草平
藤野 貴子
増田 尚子

教育委員会

郷田 賢 各務 恵美 小木曾 健太
岩島 慶尚 三宅 勝義

会議の内容 会議録のとおり

部会長 今日もまたいろいろな議題が用意されておりますので、皆さんどうか慎重なご審議をよろしくお願いします。

副部会長 それでは、報告、協議事項等に入ります。事務局のほう、お願いします。

事務局 よろしく申し上げます。では、まず報告から入りたいと思います。前回の部会のときに、工事の様子等を見るというような、ツアーではないんですけども、そういったのがあるといいなというようなご意見もありました。そこまでには至りませんが、写真を持ってまいりましたので、様子を紹介させていただきます。

これ、まず前回と同様、今回もこれに基づいて審議をしていただくためにつけております。もう見ていただいたとおりかと思います。

次、お願いします。改築新築工事の様子です。

次へどうぞ。こちらが一番最初に始まりました、倉庫や部室があったところの解体工事が始まったところでございますけれども、この工事から始まりまして、これが今はといいますと、進んでください、これが職員玄関のところから改築工事、新築工事のところの現場を見たところですが、基礎の部分の工事が始まりまして、大分コンクリートが入るような状況のところまで来ているところです。

1枚進めてください。ちょっと違う位置から見たものです。これを見ると、基礎のコンクリートが今入り始めているところが見えていただけるかと思います。

次へ進めてください。これは工事の様子を上から撮影したものです。新しい校舎が、今の校舎のどのあたりに建っているのかというようなところが見えていただけるかなとしております。今、こうして工事が5段階、5ステップまで計画されていますけれども、そのうちの今1ステップが終わってきた時期というふうな状況で進んでおります。

進めてください。こちらは、今のある校舎との渡り廊下を造っていくための工事で、職員玄関前のあたりのところの駐車場だったところを、今持っているところですが、こんな工事今進んでおります。

こちらは改築工事の様子です。今の職員室の向かいあたりが今作業をしてきたところですが、これが新しい印刷室になるところの工事の中の様子です。こちらが新しい更衣室です、職員用の更衣室になるところの工事の様子です。このあたりが今進んできております。

こちらが新しい理科室です。今は理科室が1つですが、2つになるということで、もう一つの理科室のほうを造っている工事の様子です。床のほうの配管ですとか、エアコンの設置等のところが見えるかというふうに思いますけれども、こんな工事が今進んでいるところです。

工事につきましては、毎週の工程会議等の中でどのような工事が行われるのかということや、学校行事、どのようなものがあるのかということ等をお互いに情報交換をしながら、子供たちの学習にできるだけ影響がないようにというこ

とを配慮しながらやっているところです。そうはいっても、なかなか音がゼロになるというわけにはいきませんので、子供たちの中にはちょっと気になるなという子もあるかなというふうにしては思いますけれども、できるだけそういったことが少なくなるようにというようにことを配慮しながら、今工事のほうを進めていただいているところです。中には、だんだん組み立てが上がっていく様子を子供たち見ながら、こういうふうにして校舎が建っていくんだというようにことを、山岡の子たちは特に変化が見られるので、そういったところを見て、へーというふうな思いでいる子もいるというふうな話も聞いております。では、続きまして、生徒会交流についての報告です。

1枚進めてください。今年度、2回目の生徒会交流が2月25日の火曜日にオンラインにて行われましたので、そちらの報告です。この2回目の生徒会交流のところでは、閉校に向けた取組ですとか、恵那南中に引き継いでほしいことなどの意見交流ということで、交流会がなされました。

この中で出た意見としましては、特に閉校に向けた取組については、まだ今年度については、まだ具体的には動いていないという学校が多かったです。その中で、岩邑中学校のほうが、カウントダウンカレンダーを設置しているよというふうな情報のほうが流れましたので、そういったところを聞いて、ほかの4校も残り1年に向けてというふうなことを考えていったかなというふうにして思います。

あと、引き継いでほしいことの交流の中で出た意見としましては、上下の関わり、もしくは地域との関わり、そして岩邑中が行っている実践女子との関わり、こういったところについて大切にしてほしいというふうな子供たちの意見、また学習発表会などの行事は残してほしいなという生徒の意見がありました。

また、ちょっと違う視点としては、最後のほうにありますけれども、5校それぞれの伝統はあると思うんだけど、それを全てを聞いてまとめるということではなくて、やっぱり新しい学校になるんだから、新しい学校として考えていきたいというふうな子供たちの意見も出ておりました。

令和7年度にも生徒会交流を通して、生徒会の組織でありますとか、令和8年度のスタートのときの生徒会の役員の選出、そういったところについて進めていくつもりでありますので、その進捗状況につきましては、またこちらの部会のほうでは適宜報告をしていきたいというふうにして思っています。こんなふうにして生徒同士の交流、進んでおります。

では、次に進めてください。では、次、交流授業の様子です。先ほど校長先生のほうからも報告がありましたけれども、もう一枚進めてください、3月19日の日に山岡中学校のほうで、第2回目の中学校の交流事業のほうがありました。今回は生徒が企画した軽スポーツ大会ですとか、合唱での交流というものが行われました。今回ちょっと動画を準備しておりますので、見ていただこうと思いますので、ちょっと準備しますので、よろしくお願いいたします。

事務局

では、それぞれの学校がレクリエーションを考えてきていました。岩邑中学校さんだったと思いますが、スーパーマリオゲームというのを考えてきていた

います。ルールがあれなんですけど、「スー、パー、マリ、オ、スーパーマリオ、オイ」と言って、順番に「オイ」が増えていくというので順番に回していくんですけど、こういうふうで初めてやったんですが、このグループのように、というような形でどんどん笑顔が増えていった活動でした。その後、明智中学校さんだったと思いますが、それぞれの部活の特技を活かすということで、部活動リレーというのを行って、このような形でちょっと聞こえにくいんですけど、応援の声も後半になるにつれてどんどん増えていったかなということを思っています。あと、上矢作中学校さんと串原中学校さんと、「言うこと一緒にやるのが逆のことをするよ」というレクリエーションを考えてくれていました。本当にリーダーとなっていた子たちが自分たちでよく考えて、その場、その場で声をかけていたり、みんなで一体となって取り組むことができていたと思います。

事務局

最後に、合唱を皆さんで1回練習して、その後、合わせた様子です。このような形で合唱も皆さんでやって、とても声が響いていました。

ありがとうございました。というような感じで、子供たちの2回目の交流事業のほうを行うことができました。また後で出てきますけれども、来年度に向けてもこういったような交流事業のほうを進めていきたいというふうにして思っています。

では続けて、協議事項のほうに入っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

では、本日1つ目の協議をいただきたい内容です。まず、教育課程と教育内容に関することのうちの、恵那南中学校の日課についてです。こちらについて、前回報告をさせていただいたときに、やはりバスで帰る子たちがあまり暗くならないうちに帰れる時間というようなご意見をいただきました。そういったところも含めまして、このような案のほうで今日は提案させていただきたいというふうにして思っております。

まず、3月から10月の春夏秋バージョンですけれども、8時に生徒玄関開門でバスが到着すると。その後、朝の活動等があつて、8時30分から1時間目というスタートになります。途中ではいろいろありますけれども、3時30分から部活動40分であったり、掃除や委員会で40分という活動を取り、16時半下校というのが基本です。これは火曜日から金曜日です。月曜日は5時間授業ということで、職員の会議や研修等で1週間に1回、5時間くらいというのは、大体今はどの学校もそのぐらいの予定になっているかなと思いますけれども、恵那南中学校でも同じように、月曜日は5時間授業で、2時45分下校というのを春夏秋バージョンというようにして考えております。

日が短くなってくる11月から2月の冬バージョンです。こちらは、開始は同じく8時に生徒玄関を開門して、バスの到着が8時。そして、8時30分から1時間目はスタートするという、ここのところは同じです。下校を3時30分ということで予定をしております。この時期には、部活動は少し実施することが難しい時期になるかなということを思います。ただ、これは恵那南中学校だ

けではなくて、今どこの中学校も多くはこの時期がなかなか部活は取り組めていないというところですので、南中学校だけができないというような状況ではないというふうにして思っております。そして、月曜日は同じく5時間授業の部活動なしということで、2時45分下校は同じという日課でございます。

このような日課で、先日のバスの運行予定のほうも含めまして、日課のほうを進めていきたいというふうにして思っております。まず一点、この部分について協議していただきたいと思います。お願いします。

副部長 では、恵那南中学校の日課について、今事務局より提案ありましたが、ご意見ございますでしょうか。

委員 前回、日没までに子供たちが帰れるといいなというような案ですけれども、そういうことで会議していただいてありがとうございました。今、これ日課と言っていますけど、実際にはもっと、今、下校時間のことは分かりましたけど、あと実際に朝の会や帰りの会はやるのかやらないのか、給食の時間を何分取るのか、昼休み時間は何分あるのか、そういうことを日課に落とし出すのが一般的だと思うんですね。日課というのは、毎日やる決まった仕事という意味なので、この課題整理シートにおいても、1日の日課表を策定すると書いてあるから、日課表を策定しないと意味が分からない。特に先ほど、一番最初に、今日のレジュメの一番最初に載っている図ですよ。目指す恵那南中、統合中学校の姿、これを抑えていろいろ教育課程を組んでいきたいという願いは分かりますけど、じゃあここの中にある深い課題解決力を育てる授業というのを、どういう日課を組み立てる中でつくり出していくか、ちょっと分かりにくくて申し訳ない。例えば、朝の会、帰りの会、学校やっていますけど、朝の会、帰りの会、やっていない学校もあります。朝の会、朝からだらだら話合いしたくないから、連絡だけで、5分だけでやっているところもあるし、きちんと1日の目当てを、課題、今日の授業で何頑張るか、そういうことをきちんと朝、一人一人に抑えたいといって、15分も20分もかけるところもあります。ですから、下校時間が早くなったことはとてもいいことですが、それ以外の日課の中で、どういう工夫を、新しいここに書けた、書かれた、恵那南中、統合学校の姿に向かっていくために、日課の工夫としてほかに何があるか、あったら教えてほしいです。いや、朝の会、帰りの会とか、そういうのがあるのかなのか、できたら私は、昼休みを長く取ってやりたいな、本当にせわしいと思うんです、中学校で。バスで一日、朝、晩揺られて通ったりするわけですから、昼休みぐらいはのんびりとそれぞれ読書したりして、今よりも長く取ってやりたいなという気持ちがして、そういう工夫はないかなということがお聞きしたいんです。

事務局 ありがとうございます。今回、日課表の細かなところまでは示さずしておりますけれども、ご意見いただいたように、最終的には日課表のところまで進めたいというふうには思っております。

今、ご意見いただいた中で、この日課の中で工夫したところといたしましては、やはり準備委員会の中で意見が多かった部活動の時間の確保です。こういった

ようなところについて、できるだけ回数であるとか、時間も40分の時間を生み出す、なかなか今の日課の中でも難しいところがあるんですけども、そのところを生み出せるようにというような日課ができるようにということで考えているところです。もちろん合唱がありますので、合唱の練習ですとか、朝の会、帰りの会、こういったところについても入れた日課のほうをというふうに考えております。ただ、それを毎日全で行うということになると、なかなか難しいところがありますので、曜日によって、時には掃除をカットであるとか、そういったようなところを少し曜日によって工夫をしながらというようなことで日課のほうは進めておりますので、また、今日のこのところで、大きな枠組みのところでご承認いただけましたら、また詳細のところについては詰めながら、次回以降のところでご提案させていただきたいというふうに思っております。今考えている日課についての大事にしているところは以上になります。

委 員 事務局 最終日程ではないということですか。

ここに出ている朝の8時スタートですとか、下校の時間がここということですか、というようなところについては、今日ここで決めていただきたいと思いますけれども、それ以外のところについても、やはり1時間目が何時から何時までで、2時間目がどんなところかというようなところまで、今日やはり出してほしいというご意見もありますので、そのところについては、今日お出しはできないですけども、進めておりますので、また次回以降のところ、さらに詳しいものをご提案するというように進めたいと思います。

委 員 例えば、3時半のところに部活動40分、または掃除や委員会に40分とありますよね。例えば、掃除は毎日やらないものですか。

事務局 そうですね。

委 員 部活動が40分で、または掃除や委員会となりますと、1週間のうち何回部活動があるんですか、月から金、5日間のうちで。掃除はやらない。

事務局 掃除をやらない日も5日間の中ではあるということです。もちろん環境の整備等は職員のほうでやるんですけども、子供の掃除の時間を毎日同じように取るということではなく、曜日によって、掃除ではなくてほかの活動を入れてというようなところで時間を見いだすということをしておりますけれども。

委 員 1つ聞いてもいいですか。この16番の日課についてというのは、もう今日決めて、あとはもう聞く機会がないのか、次回もあって、こういうふうに詰めていくよという形で進んでいるのか、もう決まっていますということで、次に行くのかというのを教えてもらえたらいいかなと思います。

事務局 今回提案しているところが、途中のところの細かなところということではなくて、最初のスタートとこのぐらいに帰るというようなところ、また季節によってバージョンを変えるというようなところについてご了解いただいて、またさらに細かなものについては、ここに基づいて作成をしてお示しをするというように進めたいというふうにして思いますけれども。

委 員 ありがとうございます。新しい学校はユニークで自由で、割といろんなことが自由に進められるよというところが個人的にはいいかなというのも思うので、

分かんないです。管理的な教育の中では、日課、時間割、これきっちりとなるのかもしれないですけど、そういう授業とかあってもいいのかなと個人的には思いました。ありがとうございます。

委 員 今の関連でもう一個よろしいですか。初めと終わりだけを決めると言われますけど、日課というのはやっぱり一日のスケジュールという意味なので、子供たちが学校の中でどのように充実した一日の生活を、どこに力を入れたり、あるいはどこで心を休めたりして、自分に合った学校生活をつくり出すかというのを、初めと終わりだけ決めることにどういう意味があるのかなと思うんですけど、それはもうバスの時間が来ることなので、もしこれ、普通、一般的以下だと5時間、夏日課でいったら5時半ぐらいですよ。1時間短縮しているんですよ。5時半ぐらいじゃないですか。

事務局 5時半までというところは、今、どうですか、中学校。

副部長 上矢作中学校ですけど、夏の日課で4時40分下校です。冬の日課になると4時20分、ここは部活動の時間が取れても10分程度しか取れない日課になっていますので、スクールバスの関係もありますし、そういう日課で今動いているのが、上矢作中学校です。

委 員 要するに、子供たちを拘束する時間になるべく短くして、教員の働き方改革もあるでしょうし、早く返すということも賛成ですけど、ではその分、教育の内容が薄れてしまうんじゃないかということに危惧するんです。要するに、学校生活そのものが短くなってしまうので、今まで一生懸命、短い時間の中で実施してやっていたものがさらに、夏でも4時半には帰っちゃうんですよ。例えば、3月、10月、どうですか、今の学校は2つぐらい、下校時間は4回とか5回に分けて調節していませんか。していません、上矢作や山岡は。

部長 2つです。2つしかないです。

副部長 2つ。

委 員 岩邑中学校も夏が4時30分、冬は4時10分です。

委 員 分かりました。

委 員 いいですか。

委 員 はい。

事務局 もし、どうしても朝の会と帰りとかがどんなふうにどんなふうに入るかとか、週何回掃除や部活動の回数があるかということまで含めた上で審議したいということでありましたら、今日この提案の中で、次回までにここは明らかにしてほしいというようなどところのご意見をいただいて、それも含めて次回のところで再提案というふうで、今日、ご意見をいただいて帰るというふうにさせていただけるとありがたいですけれども、そんな形でもよろしいでしょうか。

副部長 今、事務局のほうからそれぞれの事案ございましたが、8時の16時30分をベースにしながら、細かいところを考えたものを次回以降で提案して、それを基に皆さんに審議していただくということで提案出ましたが、それについて何かご要望等ございましたら、よろしくお願いします。

では、次回に日課の細かいところまで提案していただくということでよろしい

でしょうか。

では、次回のところで、日課表というか、細かい時間を示したものを事務局のほうから提案していただけるということで、課題番号16番のほうは終えたいと思いますが、よろしいですか。

では、よろしくお願いします。

事務局

ありがとうございました。

では、続けて次の議題に行きたいと思います。同じく、今度は課題16番の教育課程、教育内容に関することの総合的な学習時間の内容についてです。このところについて、一番大きな特徴としましては、5校の生徒が満遍なく全てのやはり5地区のことを学ぶことができる、そういったことを大事にしながら、しかも学年ごとに段階を経て中身が充実するようというようなことを踏まえて、中身のほうを考えてまいりましたので提案をさせていただきます。

1年生です。1年生の中身としましては、恵南地区地域巡りということで、恵南地区を知ることを目的にそれぞれの地域を巡るという活動を考えております。1回の活動は午前中4時間を使いまして、終わった後、それぞれの地域に行っそこで解散になるということではなくて、学校に戻ってくるという4時間を考えております。導入で1時間、そして事前学習1時間で、見学学習を4時間の5時間セットを5地区というふうで回しまして、学んだことをまとめる時間を4時間という流れを考えておりますので、合計30時間程度を使って、この恵南地区の地域巡りを1年生のときにするというような学習を考えております。2年生です。2年生は福祉教育・職場体験ということで、恵南地区にある福祉施設に協力を仰ぎながら、福祉ボランティア活動や交流活動のほうを行っていくということを考えております。クラス単位で福祉施設を決めて行うということで計画のほうをしております。こちらの活動のほうが導入1時間と計画準備で5時間、ボランティア活動を午前中の4時間の2回ということで8時間、そしてまとめを5時間ということの29時間くらいの内容のほうを計画をしております。

3年生です。3年生のほう、大きく2つありますけれども、一つが探求型学習ということで、恵南の未来を考えるということで、特に令和8年度は今までに自分たちが学んできた地域の現状、魅力や課題についてまとめるというような活動を考えておりますけれども、将来的にはそれぞれの地域に貢献することを考える探求学習ということで、自分の出身の地域であったりですとか、そうではなくて2年間の学習の中でいろいろ考えたいと思った地域、そういったところについての貢献の仕方を考えていく探求学習を3年生でまとめとして行いたいというふうにして思っております。こちらが導入1時間、探求活動14時間、そしてまとめ5時間ということの20時間のほうを考えております。そしてもう一つが実践女子との交流ということで、2回にわたって訪れる実践女子の生徒さん方に下田歌子さんの生まれた岩村城下をガイドをするという、これまで岩邑中学校が行ってきたところを継続しながら活動のほうをしたいというふうにして思っております。こちらが導入1時間、準備5時間、見学2時間、本番

ガイド2時間の合計5時間ということで、合計で30時間ということです。こちらの実践女子との交流のところにしましては、先日の準備委員会、理事会等の中でも、これまでそういったところを大事にしてきたところについては継続できるような計画を考えてほしいというようなご意見等もありました。修学旅行の中で今まで実践女子のほうに岩邑中学校が訪れていたというようなことを、修学旅行、東京方面ということが決まっておりますので、中身を考えてときに継続ができるものかどうかというようなことについて、実践女子のほうとも相談をさせていただいたときに、やはりこれについては実践女子の生徒がこちらに来たときに、これまで同様にお付き合いを南中学校になってもしていただきたいし、そこら辺のお互いのやり取りみたいなのところについては継続したいというようなご意見とかも聞きました。また、先日の生徒会交流の中でも、子供たちからもこういった意見等が出ておりましたので、ここのところについては継続で、令和8年度以降のところも進めていきたいというふうにして思っております。

以上、総合的な学習時間というのは年間70時間あるわけですが、そのうちの30時間くらいを地域を学ぶカリキュラムとして、このような形で入れていきたいというふうにして思っております。協議のほうよろしく願いいたします。

副部長 では、総合的な学習の時間の内容について、事務局から提案ありました。1年生、2年生、3年生、それぞれテーマを持って学習するというふうになっておりますが、このことについて何か質問、ご意見ございましたらよろしくお願い致します。

委員 総合的な学習の時間について、年間70時間というところなんですけど、あまり詳しくないので教えてほしいです。学校運営協議会にも、外部講師を登用して、生徒さんにいろいろ行ってもらう機会をつくっているというような形とありまして、とても学校ではできないことをフォローできていいなというふうに思っております。また、今示されたのは年間70時間の中の30時間ということでありました。総合的な学習の時間はどういうことに使おうという、何か経緯か目的があったのかということと、あと残りの時間は何に使われるかというのを教えていただきたいなというふうに思うんですが、お伺いいたします。

事務局 ありがとうございます。総合的な学習の時間につきましては、これまでもそれぞれの各学校ごとに地域を学ぶというような学習、いろんな呼び方がありますがけれども、進めていたりですとか、あとは生き方学習ということで、キャリア教育ですね、そういったようなところですか、いろんな体験活動に関わるようなところ、また、行事等があったときには、それに関わる取組というようなところで70時間を使っているわけですが、これまでも大体そのうちのふるさと学習が大きな柱になってくるんですけれども、そのところが30時間ぐらいずつ、どの学校もこれまでも使われてきたわけですが、同様に各学年30時間程度をそのふるさと学習というところにあてたカリキュラムというようなものということで考えてきたところです。

- 委 員 ありがとうございます。
- 副部長 そのほかよろしいでしょうか。
- 委 員 すみません、2年生のところの、総合的な学習の時間についてのクラス単位で福祉施設を決めて伺うところの、もう少し具体的な固まりとかのイメージがちょっとしづらかったので、どんな形でやられるのか、もう少し具体的に分かっていれば教えていただきたいです。
- 事務局 このところにつきましては、まだ幾つの施設のところにご協力いただけるかというところまで詰めていないんですけれども、クラスでA組はこの施設と、B部はこの施設というような、日にち、何日にこの施設のところは何組が行くというようなところで、福祉施設のほうを決めて実習のほうに行くということで、クラスがぐちゃぐちゃになってしまうと、当日、同じ日に実施しないと動きが作りにくくなるんですけれども、クラス単位にすることによって、そういった日にちがずれても対応することができるということで、同じ日に全ての施設さんが受け入れていただけるということはなかなか難しいと思われまますので、クラス単位にすることによって、日にちがずれてもその日で行けますというような形で実施ができるというふうにして考えてこのようにしております。
- 委 員 30人ぐらいが一遍に1つの施設に行くんですか。
- 事務局 施設の数によってくると思うんですけれども、たくさん施設があれば、同じ日のところでA組で2つというふうになれば、半分ずつに分かれることはできるんですけれども、ご協力いただける施設さんが数が少なくなってしまうと、そういうふうになってしまう場合もあるかもしれませんけれども、今のところはそうならないようにということは考えております。
- 委 員 あともう一点いいですか。3年生のところで、実践女子さんとの交流会があったと思うんですけれど、岩邑さんでそのようにされてきたんだというのが分かって、そういうことを大事にされていくんだというのが分かったのですが、多分今まで各学校で総合的な時間を使って、例えば地域のイベントのために使うとか、串原さんみたいにちょっと使ったり、いろんな使い方をされてきたかと思うんですけれど、全部が全部それを継続していくのは難しいかなと思ったんですけれど、その実践女子さんとの交流のほうに敢えて視点を置いた、そこだけを残していこうと決められた、修学旅行の話も出ましたけれど、どういう経緯で決められたのか、もう少し何か、何となくほかの地域のところからすると、岩村さんだけが取り上げられていることに、もう少しこういった経緯で決められたということについて、教えていただけますとうれしいです。
- 事務局 ありがとうございます。ここを入れているところにつきましては、大きなところとしては、修学旅行のコースのところ、こちらの実践女子の交流のところを盛り込んでいきたいというような思いというところが強いです。お願いします。
- 委 員 お世話になります。岩邑とか下田歌子とかでてくると、なぜ岩邑、なぜ下田歌子だろうという感じになるといけないなと思うので、これ僕が今回この事業を

しているかどうかとは別に、なぜ岩邑中学校に実践女子を交流しているかをちょっと説明したいなと思って、今やっていました。

本校が実践女子と関わりを持っている一番のポイントは、学校は、実践女子は渋谷にあります。渋谷にある私立の中学校、高校、大学です。僕は子供たちに最先端の場所を見せたい、修学旅行に行くなら最先端の場所を見せたい、超一流の場所を見せたいというふうに思っている中で、恵南とは違う学校という文化を交流させたいというところが一番大きなところです。実際に行くと、すごい施設の中に入れていただいて、ランチルームでご飯をさせていただいて、地下にある大ホールでおもてなしをしていただいて、その後、教室を回っていくんですけど、その中で下田歌子というのは、あくまで実践女子と岩邑さんの媒介をやって、下田歌子先生を勉強していくということではないので、そこはちょっと勘違いをしたくないなということで行っています。同じ中学生なんですけれども、やっぱり東京にいる子たちはバスを降りた瞬間に言った言葉が、「わあ、山やん」、それもばかにしているんじゃなくて感動しているんです。「わあ、山がある」。逆にうちの子たちと行ってビルしかないんです。「すげえビルばかりやん」という中で、同じ中学生がちょっと違う風景を見て、感じたことを交流し合うというような場としては、大変いいところだなと思って、ここ2年間実施してさせているんですが、そういったちょっと離れたところとの交流ということで、海外で交流しているわけではないですけども、日本の中でもちょっと違うところがあって、でも同じ中学生同士の交流というのは、とてもすてきな、最後の全校で校舎から、帰るときに手を振ってくれるんですけども、そういう経験をするのもとてもいいことだなと思っているので、修学旅行でそういったところに触れられるというのは、一ついいところだなというふうに思っているということです。

事務局 すみません、うまく事務局が説明できないところを補足していただいてありがとうございます。そういった修学旅行の内容の充実といったところを含めて、特にこのところというふうに入れているところです。

副部会長 そのほかよろしいでしょうか。

委員 今の話、これを聞いて、僕はすごい勘違いしちゃうんですけど、実践女子というより、実践女子大学のイメージしかなくて、それをつくられたのが下田歌子先生なのかなということで、中学生同士が交流するというふうには思っていなかったんで、ちょっと僕だけかもしれないんですけど、勘違いされる人がいるかもしれないです。そう思いました。

副部会長 ありがとうございます。そのほかどうでしょうか。

事務局 今の意見を踏まえますと、3年生の実践女子の交流の中のところに、実践女子の生徒というふうにしてありますけれども、このところ、実践女子の中学生にというような言葉に変えるようにして、部会案として出すときには、中学生であるというようなことが分かりやすいようにという、この訂正のほうをしたいと思います。ありがとうございます。

副部会長 今、2年生、3年生の部分でご意見ありましたが、1年生のほうからはありま

せんでしょうか。

委 員 すみません。発言は控えたいところなんで、1つだけお聞かせください。1年生の恵南地区巡りというのは、10か所ある恵南ですけど、季節はそれぞれ春夏秋冬で4回あります。何回、1年で1回だけですか。

事務局 そうです。時期等はまだ確定はしておりませんが、1地区につき4時間、1回ということですので、それぞれの地区については、四季それぞれ回ることではなくて、一番いい時期に1回行くという時間の確保です。

委 員 ありがとうございます。

副部長 そのほかよろしいでしょうか。

それでは、総合的な学習の時間についての内容について決を採っていきたいと思います。1年生、地域巡り、2年生、福祉職場体験、3年生、探究型学習及び実践女子との交流ということで、大きなテーマ設定などについては、このような内容でよろしいでしょうか。認めていただける方、挙手をお願いいたします。ありがとうございます。では、総合的な学習の時間の各学年の件については、事務局提案のままでよろしくお願ひしたいと思います。表現については、また少し手直しもよろしくお願ひします。

事務局 ありがとうございました。では、続けて進めてよろしいでしょうか。

では、課題19番、交流事業に関することについて、来年度の予定についてです。

まず1つ目は、小学校の交流です。こちらは、6年生ということで、令和8年度の恵那南中学校1年生になる学年での実施を考えております。令和7年の10月か11月に、半日を使って実施。活動内容は、今年も行ったような仲間づくりにつながる体験活動、レクリエーション協会のほうに講師のほうを依頼しながら、また来年の方向を進めたいというふうにして思っております。会場につきましては、山岡中学校は工事中になりますので、ただバスで移動する体験ですとか、学校の雰囲気等をつかむということのためにも、山岡B&Gが望ましいというふうにして考えておりますけれども、難しい場合は、近くの山岡小学校など、山岡地区ということで計画を進めたいというふうにして思っております。

次、進めてください。中学校1年生です。中学校1年生の交流会につきましては、1学期と2学期に各1回実施をする予定です。同じく、場所は山岡B&Gを予定しております。難しい場合は、中学生ですので、できるだけ明智中学校とか、上矢作中学校というようなところも含めて予定のほうをしております。活動内容としましては、仲間づくり体験、恵那南中学校紹介、軽スポーツ大会、合唱、こういったところについて考えていきたいというふうにして思っております。中学校1年生は、今年1回、小学校で交流をしている子たちになりますので、そういったところも踏まえて、少し子供たち自身でというふうなところも入ってくるといいかなというふうにしては思っておりますけれども、一応このような2回を考えております。

そして、中学校2年生交流会です。こちらについても1学期と2学期、各1回実施をするという予定でありますけれども、こちらにつきましては、先ほどご審議いただいた実践女子との交流のところに向けてというところを少し絡めながら、来年度は実践、交流のほうを考えたいというふうにして思っております。といいますのも、令和8年度に開校してから修学旅行までなかなか間がないということですとか、来年の3年生の子たちが、岩邑中学校の3年生が実践学園の子たちとどんなことをやっているのかというようなところをやはり見ておくということが少し大事になってくるのではないかとということも含めまして、1学期の交流会を岩邑中の3年生が説明をしているそのところと一緒にお邪魔をさせていただきながら、交流の様子を見学して、1年後に自分たちがどんなことをするんだとか、どんな人たちと交流をするんだかというようなイメージを持ったりですとか、そこをスタートとして、総合的な学習の時間を使った事前学習というようなところにつなげていく、1回目の交流会にしたいと思っております。そして2回目の交流会は、11月から12月頃に実施をして、恵那南中学校の修学旅行に向けた学習会ですとか、それまでに学んできたことの交流会、そういったようなことを行ってはどうかなということを思っております。せっかくですので、岩邑中学校などの岩村地区を会場としてこちらのほうを行って、令和8年度のスタートのところに向かっていきたい、そんな交流会にしたらどうかなということを思っておるところです。

副部会長 ありがとうございます。交流事業について、3学年の交流計画のほうを紹介、説明ありましたが、このことについてご質問等ございましたら、よろしく願います。よろしいでしょうか。

それでは、決を採りたいと思います。令和7年度の交流事業の計画について、今事務局から提案があったように、小学6年生、中学1年生、2年生の交流会の方向性について、事務局提案でいいという方、挙手でお願いします。

ありがとうございます。では、この方向でまた計画のほうを進めてください。よろしく願います。

事務局 ありがとうございました。では、続きまして、課題ごとの進捗状況の報告ということで、今回が今年度の最後の部会になりますので、今日、協議していない内容等につきまして、今年度を進めてきたことと、次年度の予定について確認のほうをさせていただきたいと思います。

まず、学校行事に関することとしましては、今年度は大きなところとしては、宿泊を伴う行事というところについてご審議をいただきました。行き先や実施時期、日数等について部会案のほうをまとめて、提案のほうをさせていただきました。令和7年度の予定ですが、令和7年度の秋に実施予定の学校説明会がありますけれども、ここまでに宿泊を伴う行事以外の大きな行事のところにつきまして、実施時期についてご協議をさせていただきたいというふうにしております。

続きまして、生徒会に関することです。今年度は生徒会交流会が実施された際に、その様子や交流内容についての報告のほうをさせていただきました。令和

7年度につきましても、同様に生徒会交流の様子を報告させていただきながら、生徒たちがどんなことを思っているのか、どんな願いでいるのかというところについてお伝えさせていただきながら、部会のほうで提案が必要だなというような大きな内容等が、子供たちだけでは困っているというようなことがあったときには、ちょっと協議をいただく可能性がありますけれども、今のところは必ず何かこれを協議というような内容については、計画のほうがありません。進めてください。学校備品、教材備品の整備に関することです。こちらにつきましては、恵那南中学校で使用しない備品の整備方法について、部会案のほうをまとめてまいりました。令和7年度については、基本的には、こちらについてはあと協議していただくような内容がないかなというふうにして思っているところです。

お願いします。学校図書に関することです。こちらにつきましては、図書館とメディアスペースの在り方について意見交流を行って、学校図書館司書などにも提案をしながら、メディアスペースや学校図書館がより使いやすくなるようにということで、準備のほうを進めていただいております。令和7年度の予定としては、最終的なレイアウトですとか、備品配置案等が決まった際にご報告をしながら、その意見が反映されているかどうかというようなことについての確認を協議していきたいというふうにして思っております。

続きまして、文書保存等の整備に関することとしましては、今年度は恵那南中学校の展示ギャラリーに展示する記念品案について、部会案をまとめてまいりました。令和7年度につきましては、追加で展示したほうがいいんじゃないかというようなものが見つかった場合など、必要な内容が生じたときには、この協議のほうをまた進めてまいりたいというふうにして思っております。

最後、予算計画に関することです。今年度協議したこととしましては、現状の5校の学校徴収金の取扱いですとか、統合後の学校徴収金の徴収方法案について、メリット、デメリットについて説明をして、意見のほうをいただきました。そこらを踏まえまして、令和7年度につきましては、秋に行われる学校説明会のところまでに、学校徴収金の徴収方法についてご提案させていただいて協議をするというような中身のところであります。これ以外のところで、今日話題になりました日課表ですとか、総合的な学習時間のさらに詳しいもの等も報告できる内容がとまりましたら、日課表につきましては、もう次回ということですけれども、それ以外のところにつきましても、まとまり次第でさらに詳しく提案をしていけたらということを思っております。今年このような審議と来年このような方向で進めたいというふうにして思っております。ご意見もしありましたらいただけたらと思います。

副会長 各課題の進捗状況について、今事務局の説明ありましたが、何かご質問等ありましたらお願いします。

委員 次回の日課表について出していただいた件なんですけど、事務局案、細かいものと、中学校がどれくらいの時間、授業、50分、40分と、休み時間、5分なのか10分なのかというのが、ちょっと状況が分からないので、掃除時間が

週に何分くらい取れるのか、その元となる5校の近況といいますか、そういうところの資料を示していただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

事務局 分かりました。ありがとうございます。

副部会長 質問はよろしいですか。

では、これで報告、協議事項のほうを終わりたいと思います。

では、最後に次回教育活動・学校事務部会についてお願いします。

事務局 ありがとうございます。次回が令和7年度に実施ということになりますので、継続して引き受けていただける方にはまた来年度もお世話になりますけれども、もし立場上で変わられるというような方がありましたら、一応今日で一つの区切りということになります。大変ありがとうございました。

それで、今回は来年度のスタート、恐らく5月になると思いますけれども、今年度同様に総会からスタートしてまいりたいと思いますので、そのときに集まっていたいて、今日確認したような令和7年度の活動の方向、そういったところについて確認をすることと、できましたらそのときに日課表についての協議ということで進めたいと思っています。日にち、場所等につきましては、こちらは総会のほうとの関わりがございますので、今日はこちらからの提案ということがないので、また改めて分かったところで連絡のほうが行くと思いますので、そちらのほうで確認をよろしくお願いいたします。

副部会長 ありがとうございます。では、これで第11回統合準備委員会の協議活動、学校準備部会のほうを閉じさせていただきます。1年間ありがとうございました。また次年度もよろしくお願いいたします。

では、これで解散にしたいと思います。